

第50学年週刊情報誌

学年通信

45回生版

兵庫県立伊川谷高等学校 45回生
 発行所 〒651-2104
 神戸市西区伊川谷町長坂 910-5
 県立伊川谷高校 印刷室
 電話 代表 078-974-5630
 FAX 078-974-5631
<http://www.hyogo-c.ed.jp/~ikawadani-hs/>

紙面から

5 4 3 2 1
 ふるさと貢献清掃実施す
 制服いけない講座
 ちよつと大変試験密対策
 登下校アンジャラスゾーン
 12月の行事予定

兵庫県立伊川谷高等学校
 校歌(2番)
 作詞 黒部 孝
 作曲 岡村 健治

量かなる 天地の恵み 身に享けて
 いにしえ人の住みし里
 友情の ゆるぎなく
 協同のこころ 培うところ
 たのしき母校 伊川谷高校

学年キャッチフレーズ
高 笑顔・夢
 校訓
自主協同

ふるさと貢献清掃活動実施す!



清掃活動の様子です

中間試験最終日、1 & 2組は「ふるさと貢献清掃活動」が待っていました。2限の試験終了後、2クラスの生徒達は昇降口に集合します。2クラスが6班に分かれ整列し、生徒会の説明を聞きます。「トングを持つたらカチャカチャ鳴らさないでください。」おっと、人間の性である『トングカチャカチャ』を先に封じられてしまいました。果たしてみんな、耐えられるかな??

6つの班は、生徒会役員+教師に引き続き、イカ高の西南北に散っていきま(何で道がないの?だつて、道がないじゃん笑)。いよいよ宝物(ゴミ)のことをこう呼びま

とトングの先が下が見えたら、何故提灯が落ちてる? 100ウォンを拾う者もいれば、部活に使うドラングリを大量に拾う者もいます。何事も経験です。

38分清掃活動は終了しました。良い事した後、校舎へ戻り、ちよつとワイワイして試験中のクラスに迷惑をかけたやいまたした米、ありや!」

「先生、これっ!」

「無理です!」

「宝物拾いは奉仕の心が大切です。決して見返りを求めてはいけません。」

「同じカンカンばかり置てる、きつかり置いていったん同じ人や!」

「悪い人がいます。先生、これっ!」



家で1人暮らしの例
適度な換気を!
 ポチポチ寒さが増してきました。ついつい「寒いから教室の戸を開めよう」ってなってしまうがちですが、そこはクとガマン。3密を避けるために適度な換気は忘れないように心がけましょう!

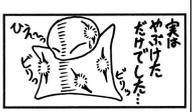
文化鑑賞会 11月17日(火)

『ジパング青春記』

11月17日(火)は文化鑑賞会です。2限目まで普通に授業を行った後、各自で明石市民会館(アワーズホール)へ移動します。

10:40 SHR諸注意・移動(学校→明石)
 12:55 生徒集合待機(明石市民会館前)
 13:20 着席・点呼完了
 13:30 開演
 15:15 終演・踏連絡注意
 15:40 生徒完全退場

—注意事項—
 ・館内マスク着用
 ・自転車での来館は禁止
 ・欠席時は12:30までに学校に連絡



ちよつと大変、試験中の密対策

できるだけのことは頑張ってますが...
 教室の「密」を避けるため、少人数の1組で最後の1組を廊下に出してあります。廊下に出してあります。これで教室内に若干余裕が生まれています。でも、裏を返せば廊下は若干狭くなります。

試験終了後、一斉に廊下に出る生徒、そしてそこで次の試験に向けた最後のあがきを始める。教室内はガラガラとしているのに、何故か廊下に入らうとせよ、廊下に止まることを選びます。その時のJ.R大阪環状線に近い状態となります。一さつきの問題、解決するか?」

なんて会話をしている者もいれば、過去を振り返る者もいます。



密対策にも一苦労です

すごい見つけた!



高 笑顔・夢 Ikawadani HighSchool



NO! 腕まくり



セーターのモロチヨロシはダメ!

制服いけない講座

寒さが増して、皆の服装も徐々に冬服へ移行しています。最初は分りにくいかもしれませんが、早い冬服の着方ですが、すぐに理解できます。早く慣れましょう。ポイントには次の通りです。

① 上着の着る着ないに開けず、リボン・ネクタイは必ずずす。無論、シャツの第一ボタンも止める。

② 上着の下からセーターをピヨーンと出し

③ セーター着たま上着を脱ぐ。それでも暑かったらセーターを着脱ぐ。それでも暑ければ上着も脱ぐ? 理解できたかな?

腕まくり、ブレザーで腕まくりしちやダメ。セーター着たま上着を脱ぐ。それでも暑かったらセーターを着脱ぐ。それでも暑ければ上着も脱ぐ? 理解できたかな?

体育後のネクタイ・リボンは特に注意だよ~!

ケ・セラ・セラ なるようになる~



次から次へと成すべき事が降りかかる、何から手をつければ良いのかも分からぬ。頭の中がグチャグチャする。そんな事は、誰しもが幾度となく経験したことがあるはずだ。では、そんな事態に陥った時、あなたはどうする? ① 冷静になり、ひと呼吸置いてから成すべき事を決めて行うのも一つである。しかし、本当にどうしようもない時は、すべてを投げ出す。最後の手段として残されている。▼もちろん、この最後の手段は文字通り「最終手段」である。これを使った場合、それ相応の『失うモノ』が多くなる事を忘れてはいけない。面倒だからとか、意味が無いとか勝手な判断により使おうとする手筋ではない。▼また、人が頑張る努力をすすめる根本の理由とは、その人が『生きていく』ために必要だからである。ならば、その『生』を守るためであれば、『すべてを投げ出す』事もあり得る。そんな時は、その手段を選ばず、勇気を持って良いのだ。▼自分の限界など他の誰にも分からない。なので、その判断は自分自身にゆだねられる。でも、それまでに真摯な態度で物事に対していたのであれば、きつと自身がどんな判断を下したにせよ、周りが助けの手を差し伸べてくれるはずだ。▼人間そんなに大きくは無い。何事も、一人で抱え込む事は無いんです。どんな事でも、必ず最後には『成るようになる』から。(福田)



変わる事のない、伊川谷高校の原点。

伊川谷高校は昭和51年(1976年)4月、神戸西神地区最初の新設校として誕生しました。個人と社会の正しい認識を持ち、自己を磨き鍛え、積極的に活動し、協力関係の中で推進力となり、友愛を育てる『自主協同』を校訓に、変わらぬ教育に努めています。

